



あおぞら

株式会社 ひこうせん

2024年9月1日第192号
〒263-0012

千葉市稲毛区萩台町 632-40
TEL 043-290-8778
FAX 043-290-8779
発行者 木村伊佐



夏まつり2024

今年の夏はパリオリンピックで盛り上がり、21日の今日は高校野球の準決勝で甲子園では熱い戦いが繰り広げられています。

ひこうせんの皆さんも若い人たちからエネルギーをもらって夏を楽しみたいと思います。

今日は夏祭り、子供の頃着た浴衣を法被に変えて豆絞りを頭に巻くとちよっと嬉しそうな皆さん、ゲームは輪投げと射的とヨーヨー釣りとおアヒルすくい、ゲームに夢中になる人もいれば法被姿が嬉しくてカメラに向かって何ポーズも撮らせてくれるシニアモデルもいました。

太鼓や笛の音、提灯飾り、お祭りの音楽が流れる中、皆さんが童心に返ったように喜んでいきます。締めくくりは盆踊り、午前中に練習した「炭坑節」を輪になって踊りました。皆さんもスタッフも一緒に踊り会場は一体感に包まれました。七夕会・うなぎ会・夏祭りと夏行事が無事に終わりました。公園にはキバナコスモスが咲き始めトンボも飛んでいます。秋はもうすぐそこまで来ています。

うなぎ会

7月24日(水)土用の丑の日、恒例のうなぎ会が開催されました。皆さんにとって「うなぎ」は「特別な日」です。今日、ついにその日がやってきました。

今年は浜松出身のスタッフが地元うなぎ専門店へ買い付けに行き運んでくれた思い入れの詰まった特別のうなぎです。「うなぎを食べて夏を乗りきるぞー!!」

「おおい!!」の元気な雄たけびで「斉に蓋を開けた皆さん、うなぎが大きくてお重からはみ出るポリウムに「おおい!!」と2回目の歓声が聞こえてきました。

うなぎの食べ方は重箱の左下から右に向かって食べて半分ほど食べたなら180度回転させて左下から食べるのがマナーのようです。皆さんの食べ方は回転はありませんでした。皆さんは左下から食べていました。お重は瞬間に空っぽになりました。うなぎにまつわる思い出エピソードでは、子供の頃は川でうなぎを捕まえて家でさばいて食べていたという話を聞きました。

今年も丸ごと一本食べられるお元気と幸せに感謝したいと思います。

令和6年度第2回運営推進会議

8月15日(木)今年度2回目の運営推進会議が開催されました。

現況報告、身体拘束適正化検討委員会に続き、株式会社千葉薬品から薬剤師の方をお招きしてポリファーマシー(多剤服用の中でも害をなすもの)と認知症についてお話し頂きました。

現在ホームでは数種類の薬を服用し、その数も5つ以上の方が多くいます。往診では加齢による副作用のリスクを下げるため、高橋先生と薬剤師による薬の見直しも行なわれています。認知症薬については中核症状と周辺症状に対する薬の種類や効用についてご説明いただきました。

又、令和6年度の診療報酬改定に基づき、10月から後発のある先発医薬品の処方希望する場合には薬価の差額が自己負担になる新しい仕組みについてご説明がありました。提携の薬局の薬剤師が薬を総合的に把握し、一元管理を行い継続的にサポートしてもらえることは入居者の皆さんの安心安全な暮らしに欠かせない役割になっています。

今後も引き続き連携を取りながらアドバイスを頂きたいと思っております。

入居者、家族、萩台町民生委員、あんしんケアセンター天台、千葉薬品の皆様お忙しい中ご参加いただきありがとうございます。